

- 当市では、管理の行き届いていない私有林の適正な管理を促進するため、森林環境譲与税を財源に森林経営管理制度を活用して、計画的に森林整備を進める方針。
- 令和4年度までに4地区（計約148ha）の私有林の森林所有者を対象に意向調査を実施し、その結果を踏まえ、4地区（計約122ha）の経営管理権集積計画を作成した。順次、各地区の森林整備を進めるとともに、計画的に対象地区を増やしていく予定。

□ 令和4年度事業内容

①市町村経営管理事業【第一期取組地区】

- 令和2年度から取組を開始した1地区（吉川区河沢）において、令和4年度から森林整備（間伐）に着手し、全区域を5か年計画（令和4～8年度）で間伐を進める予定。

【事業費】 7,053千円（うち譲与税4,195千円）

【実績】 間伐5.1ha、作業道開設584m、搬出材積188m³

②経営管理権集積計画の作成【第二期取組地区】

- 令和4年度から取組を開始した3地区（大島区棚岡、中郷区二本木ほか、名立区名立大町）の森林所有者に対して、森林経営管理制度に関する説明会を開催し、意向調査を実施した。
- 経営管理権集積計画に関する説明会を開催し、同意取得に取り組み、集積計画を作成（経営管理権を設定）した。

【事業費】 9,554千円（うち譲与税5,683千円）

【実績】 意向調査 3地区（計約119ha）

経営管理権集積計画作成 3地区（計約92ha）



（間伐前）



（間伐後）



（ドローン航空レーザ計測）

□ 取組の背景

- 上越市では、林業経営の効率化と森林資源の活用を図るため、経営管理実施権の設定（民間事業者への再委託）が見込まれる地区を優先して取り組んでいる。
- 事業内容①では、モデル地区として先進的に取組を進めている。
- 事業内容②では、森林整備を推進するため、上越市内を事業区域とする3つの森林組合から、1地区ずつ計3地区を選定し、取組を進めている。

□ 工夫・留意した点

- 事業内容①では、上越市鳥獣被害防止対策協議会と連携し、緩衝帯整備への間伐材の利活用や鳥獣出没状況のモニタリングなど、鳥獣が出没しにくい環境づくりにも取り組んでいる。
- 事業内容②では、ドローンによる航空レーザ計測及び地形・森林資源情報の解析を行い、森林境界の明確化及び集積計画の同意取得に活用するなど、先端技術を活用したスマート林業にも取り組んでいる。あわせて、林業関係者を対象とした研修会を開催し、事例紹介など、地域のスマート林業の普及及び導入の検討につなげている。

□ 取組の効果

- ①の事業による間伐により、地域の方から「スギ林の見通しがよくなり、山が綺麗になった」との喜びの声が聞かれている。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：66,858千円	②私有林人工林面積(※1)：10,125ha	
③林野率(※1)：55.8%	④人口(※2)：188,047人	⑤林業就業者数(※2)：114人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より